

企画シンポジウム（日時、時間、教室番号等が記載されます。消さないでください。）

## ビジュアル・ナラティブとメタファーの力

企画： 横山草介（東京都市大学 人間科学部）

やまだようこ（立命館大学 OIC 総合研究機構）

話題提供： やまだようこ（立命館大学 OIC 総合研究機構）

話題提供： 山本一成（滋賀大学 教育学部）

話題提供： 横山草介（東京都市大学 人間科学部）

### 企画趣旨

ビジュアル・ナラティブは、人々の経験や世界における諸現象を視覚的なイメージを介したものの語る行為ならびにその所産を糸口として人間や世界についての多様な理解を試みるアプローチである。企画者らはこのアプローチの可能性について、いくつかの学会で研究報告を重ねてきた。視覚的なイメージを介した語りは「シニフィアン（記号表現）」と「シニフィエ（記号内容）」とのむすびつきにおいて、多義性を1つの特徴としている。言葉を換えて言えば、表現されているところと指示されていることとの間に多様な解釈可能性が残されている。今回のシンポジウムでは、この問題を「比喩の力」という観点から捉え直してみたい。比喩には、原事象との連関が明示的な「直喩 simile」、原事象との連関が非-明示的な「隠喩 metaphor」、原事象との連関を、喩えの関係項によって指示する「換喩 metonymy」、原事象との連関を、喩えの部分-全体関係によって指示する「提喩 synecdoche」、原事象との連関を人間や事物に喩えて指示する「擬人」「擬物」といった方法が知られる。ただし、これらは言語を用いたレトリックの手法として整理されたものであり、視覚的なイメージを用いた比喩にそのまま適用可能であるとは限らない。こうした点も含め本シンポジウムでは、ビジュアル・ナラティブと比喩の力との関係について探究を行いたい。

### 話題提供1 時空を超えて共に見る「月」（やまだ ようこ）

私は、「詩的現実とビジュアル・ナラティブ」の理論化をこころみてきた。古くから「花鳥風月」といわれ詩歌の題材になってきた「月」の意味を、次のような多重の視点から考えてみたい。①ビジュアル・ナラティブでは、言語が対話的「二項関係」であるのに対して、ビジュアルを媒介に共同注意的「三項関係」をむすぶことに特徴がある。「月」は、三項関係の媒体としての「ビジュアル」となる。②「月」は、今ここに居る自己と離れた場所（あのとき、あそこで見た月）をむすび、不在の場所や不在の他者をむすぶ媒体となり、時空を超えた「メタファー（原義は移動）」となる。③「月」は、天上の月と地上の自己をかさねて自己を振り返る「鏡」となり、ライフ（人生・いのち）を眺めるリフレクションの媒体と

なる。④「花鳥風月」(移ろうもの)のなかでの「月」の位置づけを、半具象的な「場所(トポス)」モデルを生成することによって明確にする。

## 話題提供2 「発酵」メタファーによる協同的保育実践理解(山本 一成)

筆者は全国私立保育連盟による委託研究「Life(生活・人生・生命)を深める保育実践理論の探求」のなかで、「発酵」メタファーで保育実践を記述することを試みている。「発酵」は関係的な概念である。有機物を分解するのは人間ではなく微生物であり、人間は微生物が活動しやすい環境をつくるにすぎない。発酵の「担い手」は、微生物—人間—環境(温度や水分)の系であり、個体ではない。関係のなかで、人間以外の存在の手も借りながら、時間をかけて「良さ」を生み出していくのが発酵である。

保育を発酵のプロセスとして捉えてみると、どのようなことが見えてくるだろうか。育つことを「発酵」として見ることと、「発達」として見ることに、どのような違いがあるだろうか。本発表では、研究協力園の保育者と協同的に探求してきた、「発酵」メタファーを通じた保育実践理解の試みを紹介し、発酵的保育論の可能性を検討したい。

## 話題提供3 視覚的なイメージが照らし出すもの(横山 草介)

視覚的なイメージによって表現されたものが一体何を指示しているのか、という問いは「シニフィアン(記号表現)」と「シニフィエ(記号内容)」とのむすびつきをめぐる興味深い探究のトピックを引き出す(ロラン・バルト, 2005)。筆者は保育者が自らの実践について抱く実践観を視覚的なイメージを通して明らかにする研究に取り組んできた(横山・関山, 2020, 2022)。保育者はときに自らを太陽や大地、風雨に喩えて表現する。あるいはまた、保育の実践を植物や樹木の栽培に喩えて表現する。視覚的なイメージは、さまざまな具象、抽象によって描かれ、それぞれが実践についての何らかの価値観や信念を明らかにするものとなっている。そこには、保育という社会的な実践に関わる保育者の個人的な価値観や信念に留まらず、社会-文化-歴史的に構築された価値観や信念までもが照らし出される。本発表ではこれらの視覚的なイメージが明らかにしているものについて検討することを通して、ビジュアル・ナラティブの可能性について探究を進める。

## Visual Narrative and the Power of Metaphors

Sosuke Yokoyama (Tokyo City University), Moderator

Yoko Yamada(Ritsumeikan University), Moderator

Yoko Yamada(Ritsumeikan University), Presenting Author

Issei Yamamoto(Shiga University), Presenting Author

Sosuke Yokoyama (Tokyo City University), Presenting Author

Language: Japanese